

「環境研究・環境技術開発の推進戦略について」  
(平成22年6月22日 中央環境審議会答申)の概要

(1) 基本的考え方

1. 中長期の「あるべき持続可能な社会の姿」を念頭に置いた研究開発
2. 世界トップレベルの環境技術を活かした「世界への貢献」と「成長」
3. 技術を「社会実装」させ、イノベーションを目指す

(2) 重点課題

領域横断

- 【重点課題4】複数領域に同時に寄与するWin-Win型の研究開発 (例) コベネフィット型技術・システムの開発
- 【重点課題5】複数領域間のトレードオフを解消する研究開発 (例) 温暖化対策製品の3R技術の開発
- 【重点課題6】環境要因による社会への影響と適応 (例) 気候変動等による生態系への影響の解明

個別領域

脱温暖化

- 【重点課題7】低炭素で気候変動に柔軟に対応するシナリオづくり
- 【重点課題8】エネルギー需要分野での低炭素化技術の推進
- 【重点課題9】エネルギー供給システムの低炭素化技術の推進
- 【重点課題10】地球温暖化現象の解明と適応策

循環

- 【重点課題11】3R・適正処理の徹底
- 【重点課題12】熱回収効率の高度化
- 【重点課題13】レアメタル等の回収・リサイクルシステムの構築

領域横断

全領域共通

- 【重点課題1】長期的な国家ビジョンの中でのあるべき社会(持続可能社会)に係る研究
- 【重点課題2】持続可能社会への転換に係る研究
- 【重点課題3】アジア地域を始めとした国際的課題への対応

領域横断

領域横断

- 【重点課題14】生物多様性の確保
- 【重点課題15】国土・水・自然資源の持続的な保全と利用

自然共生

- 【重点課題16】化学物質等の未解明なリスク・脆弱性を考慮したリスクの評価・管理
- 【重点課題17】健全な水・大気の循環

領域横断

安全